

兵庫県立神戸西部新設高等特別支援学校（仮称）

兵庫県神戸市



校門廻り



生徒昇降口



渡り廊下から運動場を望む



中庭の並木道

自然のなかで自然と融合しながら自立を目指した学校

神戸ワイナリー農業公園内にたてられた高等特別支援学校です。農業公園という自然に囲まれた環境を生かした農業実習を行ったり、農業公園でとれた食材を使ってパンを作り販売の実習を行うなど、自然と融合しながら生徒の自立を目指します。

淡路瓦を使い、敷地周囲の既存建物との調和を図り、体育館棟とプール棟の屋根は木造とすることで県産材の利用も行っています。教室棟の屋上には太陽光発電パネルを設置し、自然エネルギーの利用も行っています。教室棟と体育館に挟まれた中庭にオリーブの並木道をつくり、南仏をイメージさせ、落ち着きとくつろぎがある空間としています。運動場には人工芝を設け、夏場の温度抑制や砂埃の軽減、転倒時のけがの軽減などに配慮しています。



普通教室



図書室

用途：高等特別支援学校

構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨、木造

規模：地上3階建

敷地面積：19,088.38㎡

建築面積：2,525.24㎡

延床面積：5,634.65㎡

開校予定：2017年4月



外観パース



調理教室



プール